

5 「うごくおもちゃを作ろう」実践本時案（3/9 時）

○本時の目標 身の回りのものを再利用して「動くおもちゃ」を作ることを通して、身近にあるものを繰り返し使ったり無駄なく使ったりすることの大切さに気付くことができるようにする。

	<h2 style="text-align: center;">主な学習活動</h2>	◇教師の支援 ◆主な評価
<p>1. 本時のめあてをつかむ【5分】</p> <p>あつめた ざいりょうを つかかって 「うごくおもちゃ」をつくろう</p> <p>●前時に決めた「作りたいおもちゃベスト3」を確認し、作るものは何かを押さえる。</p> <p>●身の回りにある不要になった牛乳パックや段ボールを再利用しておもちゃ作りをすることの意義を押さえる。</p> <p>2. 注意点を知る【5分】</p> <p>●作業場所・材料の場所・試しに遊ぶ場所の確認</p> <p>●作業時間・片付け時刻</p> <p>●道具使用（はさみ・段ボールカッター）や遊ぶ時（安全面）の諸注意</p> <p>●工作のコツ（右記の主な支援を参照）</p> <p>3. グループに分かれて、「うごくおもちゃ」を作る。【25分】</p> <p>③ (1) おもちゃ作りをする。</p> <p>(2) 試しに遊んでみる。</p> <p>⑧ふくろロケット ……3階廊下へ（4-1側から投げる）</p> <p>⑥ヨットカー ……3階廊下へ（音楽室側へ走らせる）（手回し扇風機を活用する）</p> <p>(3) 改良を加えたり、別のおもちゃを作ったりしてみる。</p> <p>4. 片付けをする。【5分】</p> <p>5. ふりかえる。【5分】</p> <p>●自分が持ってきた廃材が「動くおもちゃ」に変身した驚きや喜び、繰り返し無駄なく使うことの大切さに着目しながら、学習感想カード（B6サイズ）を書く。</p>	<div style="text-align: center;"> <h3>理科室レイアウト図</h3> <p>【工夫】翼を増やしたらもっと遠くへ跳ぶかな。</p> <p>【注意】人に向けて飛ばさうね。</p> <p>【場所の確認】⑥ヨットカー ⑧ふくろロケット T2の先生と3階の廊下へ行って試そう。</p> <p>【気づき】牛乳パックでこんなおもしろいものができるんだ！</p> <p>【注意】わりばしは指で回さうね。</p> <p>【コツ】電池の幅よりも少し大きめにすると、よく転がるよ。</p> <p>【コツ】正方形に切り分けてからセロテープでとめるとよく跳ぶよ。</p> <p>【コツ】ゴムを3本、電池に巻き付けると、すべり止めになるよ。</p> <p>材料コーナー 輪ゴム ビーズ 竹ひご 画用紙 厚紙 ストロー マラップ ゼムクリップ 折り紙 単一電池 紙コップ わりばし 段ボール</p> <p>道具コーナー のり はさみ セロテープ 両面テープ 段ボールカッター</p> <p>教卓</p> <p>お試しコーナー ころころ ころん</p> <p>とことこカメ</p> <p>入り口（ドア）</p> </div>	<p>◇理科室に、あらかじめ道具や材料を準備しておく。</p> <p>◆自ら廃品を集め、再利用して使える身の回りのものを探ることへの興味・関心を高めている。</p> <p>◇試しに遊ぶときは、周囲をよく見て、安全に気を付けるよう指導する。</p> <p>◇わりばしやたけひごの切り方、ゴムを穴へ通す方法などの、難しい作業はコツを伝える。</p> <p>◇よく動くおもちゃにするためのコツを伝える。（パッチンガエルやとことこカメなど・吹き出し参照）</p> <p>◇「作り方の手順表」と「見本のおもちゃ」を各机に置いておく。</p> <p>◇3階廊下へは、T2が付き添っていく。</p> <p>◆身近にあるものを繰り返し使ったり無駄なく使ったりすることの大切さに気付いている。</p> <p>◇再利用することの大切さに加えリデュースの大切さにも、機会があれば触れていく。</p>

学習感想  
・作ったもの  
・作った感想

今までは捨てていたものが、楽しいおもちゃに変わって、うれしかったよ。

〇〇を捨てないでよかった。捨てればゴミだけど、くりかえし使えば、こんなに楽しいおもちゃができることを学んで、びっくりしたよ。

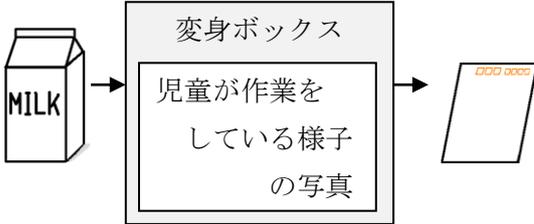
これからは、ものを捨てる前に、この材料で何かおもちゃが作れないか、考えるようにしたいな。

5 「“ごみ” から作ろう！」実践本時案（5 / 10時）

(1) 本時の目標

- ・牛乳パックを再資源化して、はがきを作ることができる。
- ・不要な物を再利用させたことが分かる。

(2) 本時の流れ

時	主な学習活動	◇教師の支援 ◆主な評価
F E E L	<p>○ 牛乳パックで紙すきをしよう</p> <p>①細かいパルプ紙をミキサーにかける ②紙すきをして、布の上にできた紙を置く ③ミキサーの中身を紙すきのバットにあける ④紙に好きな飾りをのせる ⑤布ごと紙を干しに行く ※①～⑤を2人ずつ順番に行う</p> <p>待ち時間には以下の作業を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パルプ紙を小さくちぎる</li> <li>・前時に作成した無地の紙を布からはがし、はがき大に切る</li> <li>・郵便番号記入枠スタンプを押す</li> </ul> <p>⑤ ○牛乳パックを変身ボックスに入れて 何になったかを確認しよう</p>  <p>○今回の活動をワークシートにまとめる。</p>	<p>◇ 活動の際の児童の順番や、活動の手順を写真や絵、文字で示す。</p> <p>◇ 児童の実態に応じて活動の支援をする。</p> <p>◇変身ボックスを活動毎に使用することで、不要な物→使える物に作り替えることができた、という再利用・再資源化の考え方を入りやすくする。</p> <p>◆【環境に対する見方・考え方】 〈思考・判断・表現・必要な技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業の方法を理解して、紙すきを行うことができる。</li> <li>・ 不要な物を再利用させたことを理解し、ワークシートに記入することができる。</li> </ul> <p>〈気付き〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちが、不要な物(牛乳パック)から、再利用できるもの(はがき)を作ることができたことが分かる。</li> </ul>